

収納ベッド・クィーン・オーク材

収納ベッド・キング・オーク材

収納ベッド・クィーン・ウォールナット材

収納ベッド・キング・ウォールナット材

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。

また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2 ～ 4
パーツリスト	5
各部の名称	5
組立方法	6 ～ 13
ご使用方法	14
お手入れ方法	14 ～ 15
ご使用に際して	15 ～ 16
製品仕様	16
お問い合わせ先	16

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重症とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。

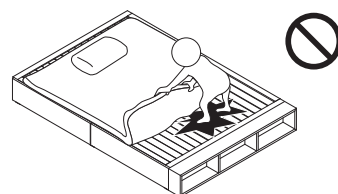


警告

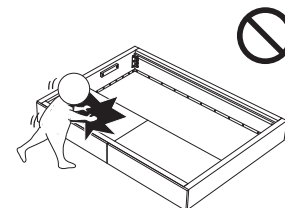
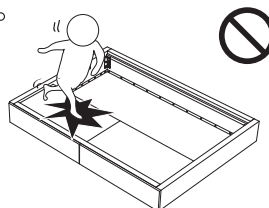


禁止

- 乳幼児を寝かさなさいでください。床への落下によるケガや窒息のおそれがあります。
- 保護者の目の届かない所でお子様ひとりでは使わせなさいでください。思わぬケガの原因となります。
- ベッドの上で立ったり、とんだりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。
- ヘッド・フットボードやサイドレール、床板の上に直接腰掛けたり乗ったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。
- 布団を畳むとき床板の上に乗って畳まないでください。負荷がかかり床板が破損し思わぬケガの原因となります。



- 床板を外した状態で、引出ユニットの天板の上に乗ったり手をついたりしないでください。天板が破損し、ケガをするおそれがあります。



- 局部的に過度な荷重を加えないでください。商品の破損の原因になります。
- 規定人数を超える人数では使用しないでください。転倒、本体の破損によりケガをする原因となります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用しますとケガをするおそれがあります。
- ベッドの上での喫煙はおやめください。火災の原因などになることがあります。
- ストーブなどの暖房器具を近づけて使用しないでください。熱源に近づけ過ぎると引火して火災の原因となるおそれがあります。
- 電化製品の電源コードを商品で踏まないでください。コードが破損し感電、火災の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをするおそれがあります。
- 梱包材は幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどして、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

- 本体のみ（上面が床板の状態）では使用しないでください。ケガや破損のおそれがあります。マットレスや敷布団等を敷き使用してください。
- ベッド用ではないマットレスは使用しないでください。ベッドが破損し、ケガをするおそれがあります。
- 引出しの上に乗ったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。壊れてケガのおそれがあります。
- 引出しには耐荷重を越えて物をいれないでください。変形や破損によりケガをするおそれがあります。また、床にキズがつく原因となります。
- ベッドの周囲には家具などの転倒する可能性のあるものは置かないでください。地震時やその他揺れた時などに転倒しケガをする原因になります。
- ベッドの接地場所の上部に落下物を置かないでください。地震時などに落下物でケガをする原因になります。
- ベッドを移動する際は、引きずらないでください。ケガや破損、床面へのキズの原因になります。
- 床板は正しい向きで設置してください。逆向きで設置すると床板が破損し、ケガをするおそれがあります。
- フィッティングパーツの取付に『電動工具』は使用しないでください。
- 引出しを動かす際は可動部に触れないでください。手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。
- 屋外では使用しないでください。反りや歪み、割れの原因になりケガをするおそれがあります。



行う

- 使い始めの時は、室内の換気を十分に行ってください。木材の接着剤等に含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方においてはアレルギー症状を起こすことがあります。特に乳幼児の衣類などを収納する場合は、ポリ袋やビニール袋等に入れたままの状態に収納してください。
- ベッドの裏側に空気が流れるように壁から少し離してください（10 cm 位が望ましい）。空気の滞留によりカビやダニが発生し、健康を害することがあります。また、壁に直接触れていると、壁紙が変色することがあります。
- 部屋の換気は定期的に行ってください。特に下記の条件ではカビやダニが生じやすく健康を害することがあります。
 - ・ 湿度の高い季節
 - ・ 冬季など外気が冷たく、室内温度との差により結露が生じる場合
 - ・ 過度な加湿器の使用
- 布団やマットレスを定期的にベッドから外してください。布団やマットレス内部の温度差、湿度によって、カビが発生しやすくなり、健康を害する事があります。特に布団は湿気がこもりやすく短期間でもカビやダニが発生しやすいため布団は敷いたままにせず、こまめな換気が必要です。
- 収納部の湿気対策を行ってください。収納部は湿気がこもりやすくなりますので、市販の除湿剤（湿気とり用）などを使用し、定期的な換気をおこなってください。また、汚れたものはカビの原因となりますので、汚れを落としてから収納してください。
- 組み立ては必ず2人以上で行ってください。
- 移動の際は収納物を取り除いてから、必ず2人以上で行ってください。1人で引きずったりするなど無理に移動させるとケガや商品が破損する原因となります。
- 引越しや部屋をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。パーツが外れてケガや商品が破損する原因となります。
- ボルトなどの金具類は、ゆるみやグラツキがないか時々点検し、ゆるみははじめたら、しっかり締めなおしてください。ガタツキや異常音、商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。
- 床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。床面のキズ防止になります。
- 床面がクッションフロアーの場合は、敷物などを敷いて使用してください。脚部（木製の場合）塗料と床面との反応による汚れ防止になります。
- 組立・設置の際は床や既存の家具にキズがつかないように敷物を敷いてください。

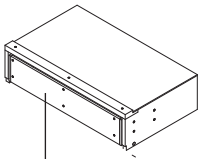
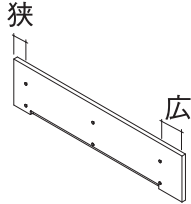
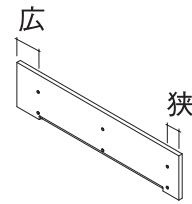
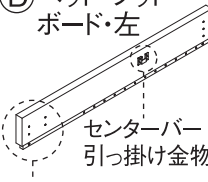
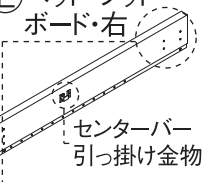
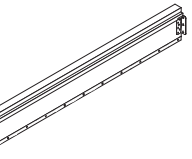
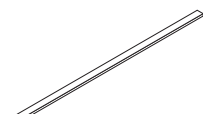
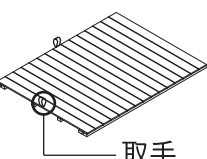
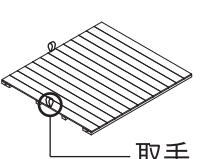
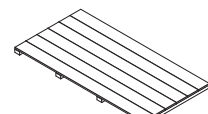
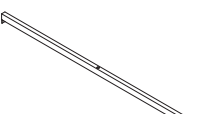
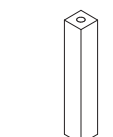
お願い（その他 注意）

- ベッドは床面の平らな場所に水平になるように置いてください。ガタついた状態で使用すると、ベッドの変形やゆがみの原因となる事があります。
- 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの熱・冷暖房器の風などが直接あたる場所や、湿度が極端に低い室内での使用はしないでください。変形・変色や表面材の割れの原因になる事があります。
- 敷ふとんを利用する場合は別途収納ベッド追加台（別売）が必要になります。
- 梱包材は、開封後に自治体のルールに基づき、正しく廃棄してください。
- お手入れの際はシンナーなどの有機溶剤や漂白剤などは使用しないでください。

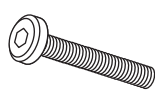
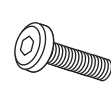
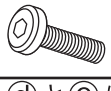
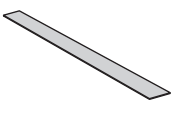
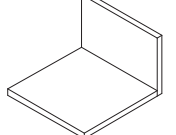
パーツリスト

オーク材・ウォールナット材 共通 / キーン・キング 共通

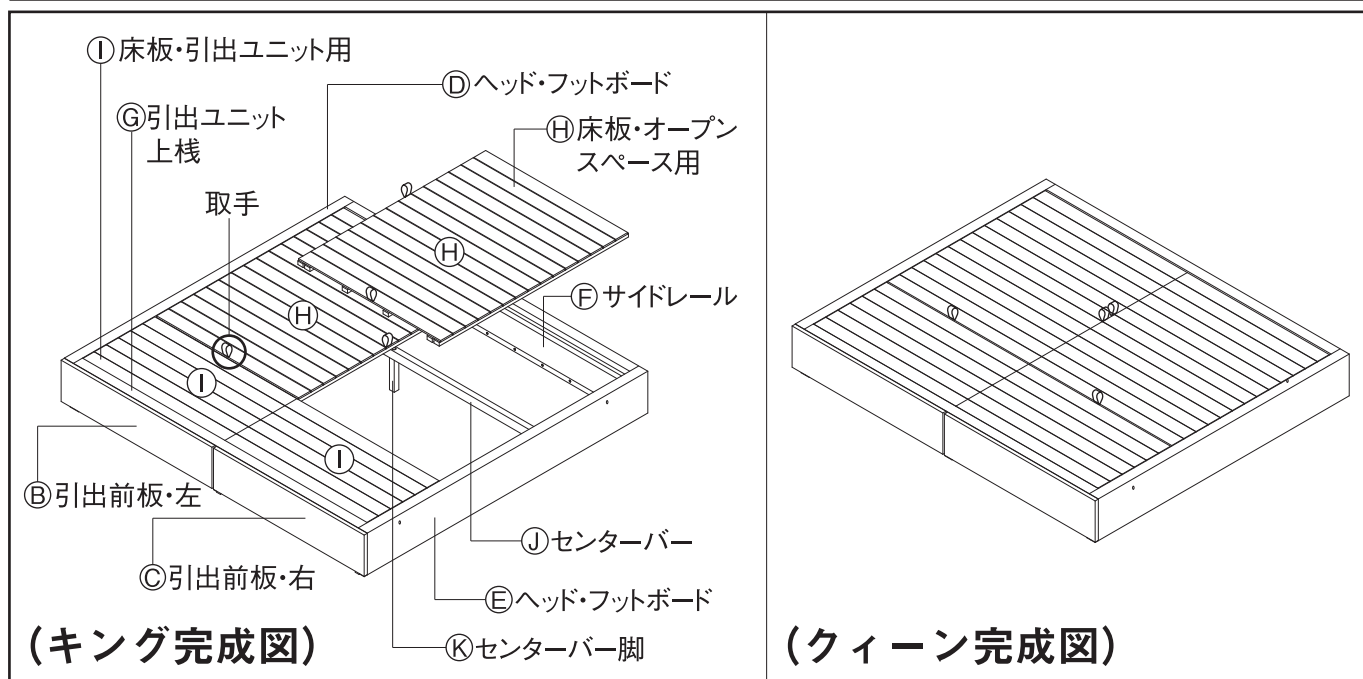
※各リストはオーク材・ウォールナット材ともに共通です。また、キーン・キングともに共通です。

① 引出ユニット  引出内箱 ×2	② 引出前板・左  狭 広 ×1	③ 引出前板・右  広 狭 ×1	④ ヘッド・フットボード・左  センターバー 引っ掛け金物 ⑤と穴位置が 異なります。 ×1	⑤ ヘッド・フットボード・右  センターバー 引っ掛け金物 ④と穴位置が 異なります。 ×1	⑥ サイドレール  ×1
⑦ 引出ユニット上棧  ×1	⑧ 床板・オープンスペース用 ※取手つき×2 キングの場合  取手 クイーンの場合  取手 ×2	⑨ 床板・引出ユニット用  ※取手なし ×2	⑩ センターバー  ×1	⑪ センターバー脚  ×1	

フィッティングパーツリスト

① ボルト・大 長さ4cm  ×15	② ボルト・中 長さ2.5cm  ×6	③ ボルト・小 長さ2cm  ×12	④ 連結ボルト 長さ2.5cm  ×4	⑤ 連結ナット  ×4	⑥ スプリングワッシャー  ×29	⑦ ワッシャー  ×41
⑧ 引出ストッパー  (①引出ユニットに 取付けてあります。) ×4	⑨ フェルト  ×30	⑩ フェルト  ×5	⑪ 目隠しシール  ×6(予備2)	⑫ 六角レンチ(M5)  ×2	⑬ 引出前板取付治具  ×1	

各部の名称



組立方法

オーク材・ウォールナット材 共通 / クイーン・キング 共通

※組立方法はオーク材・ウォールナット材ともに共通です。

※各サイズの組立方法も共通ですが、イラストにはキングサイズを使用しております。



注意

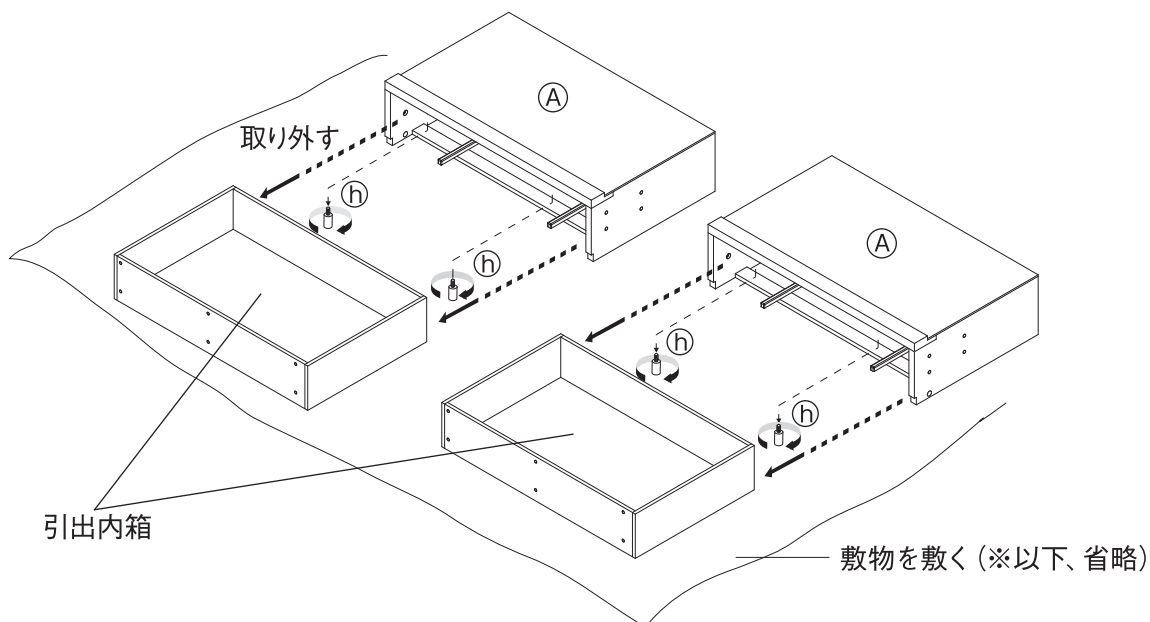
- 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。
- 組み立てには電動工具は使用しないでください。無理に負荷がかかると、商品破損によりケガをすることがあります。
- 組み立て後、一週間程度経過しましたら、ボルトを締めなおしてください。使い始めはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

1

あらかじめベッドの設置位置を確認し、組み立てる場所に敷物を敷いて床面を保護してください。(組立後の移動を避けるため、なるべく設置位置の近くで接地方向に向けて組立を始めてください。)

2

①引出ユニットから引出しを少し出した状態で②引出ストッパーを取り外し、引出内箱を抜いておきます。
※②引出ストッパーは組立方法 16 で再度取り付けしますので保管しておいてください。



3

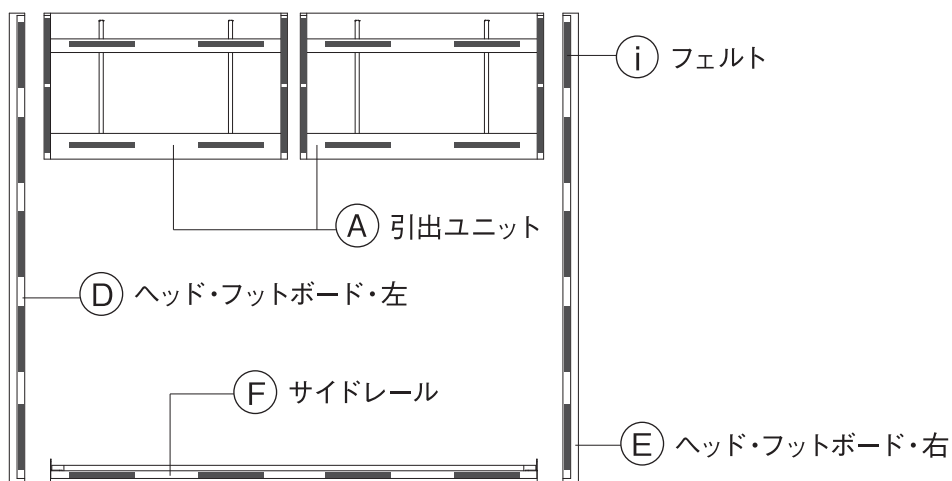
本体の各パーツの底面に付属の①フェルトをはがれないよう、下記イラストを参考に貼付けてください。
※組み立て後にきしみが発生する場合や床面とわずかに隙間が生じている場合などは、必要に応じて市販のフェルト等を兼用してください。

※引出ユニットは組立方法 2 で引出内箱を外した状態で貼るようにしてください。

お願い (その他 注意)

フェルトは床面を保護するために使用してください。貼る前に貼る面のほこりなどの付着物をふき取ってください。付着物があると粘着力が低下します。貼った後は貼った全面をしっかりと押さえて、ムラなく接着してください。

クイーン・キング フェルト×30枚



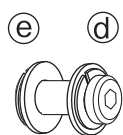
組立方法 (つづき)

※イラストは **キング** サイズを使用しています。

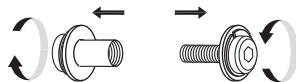
4

- ① ㊸連結ナットから㊹連結ボルトを取り外し、2つのパーツを一度分けてください。
- ② ㊹連結ボルト㊸連結ナット㊺スプリングワッシャー㊻ワッシャーを使用し㊼六角レンチで㊾引出ユニットを連結してください。(合計4カ所)

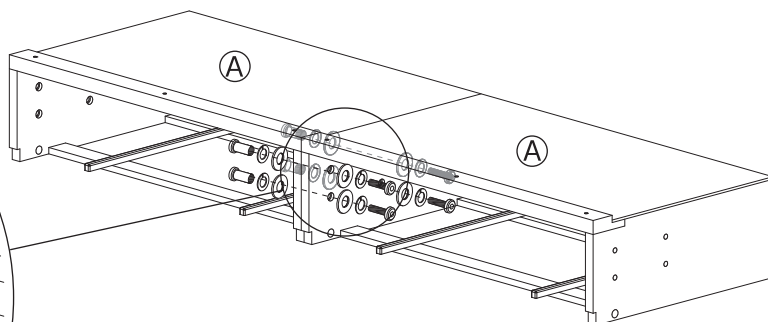
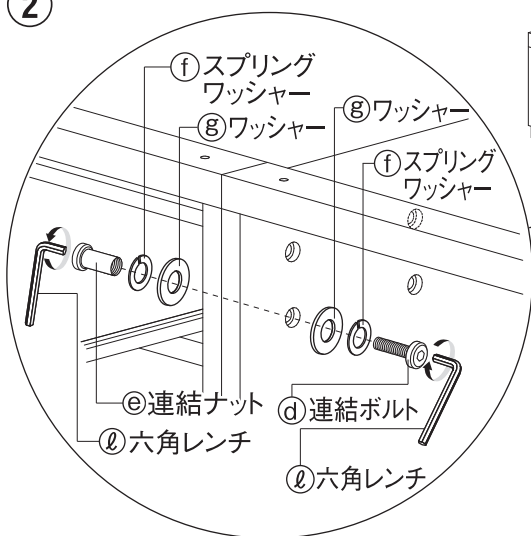
①



取り外す



②

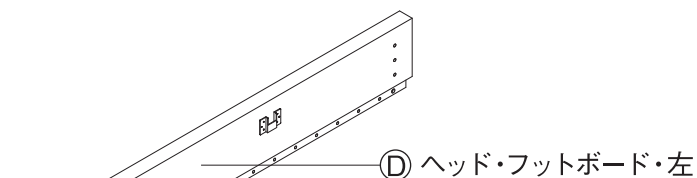
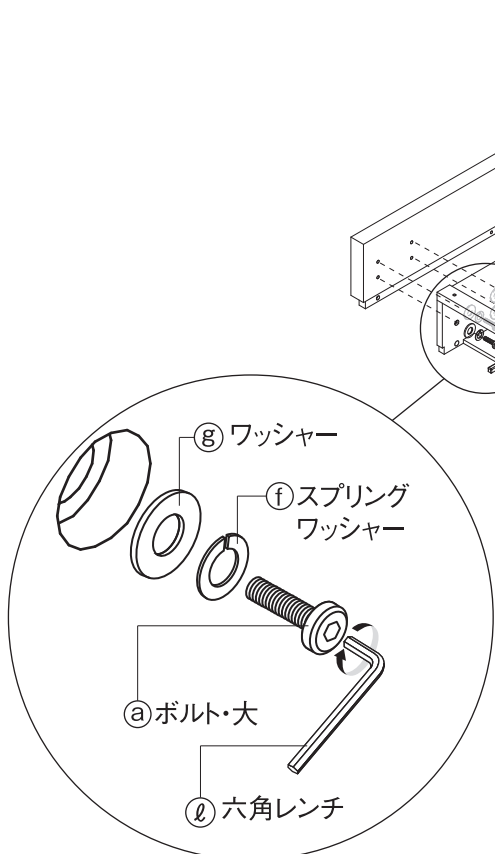


**お願い
(その他 注意)**

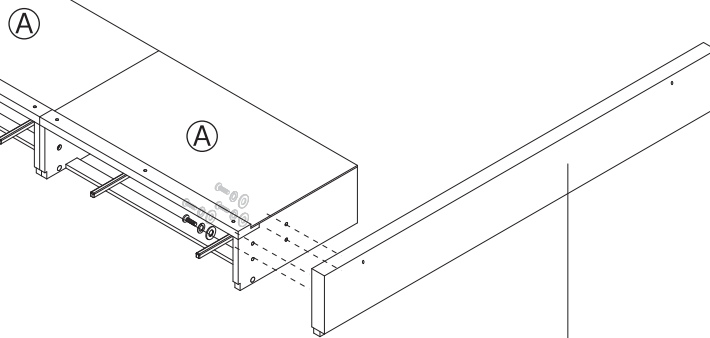
㊾引出ユニットの連結部に隙間や段差ができないようにしっかり合わせて連結してください。

5

- ㊿ボルト・大㊺スプリングワッシャー㊻ワッシャーを使用し㊼六角レンチで㊾ヘッド・フットボード・左と㊿ヘッド・フットボード・右を軽く締めてください。(合計8カ所) (組立方法 **7** できつく締めます。)



㊾ ヘッド・フットボード・左



㊿ ヘッド・フットボード・右

**お願い
(その他 注意)**

一箇所ずつきつく締めると穴位置がズレ、残りが締めにくくなることがあります。全体をゆるめに締めてください。

組立方法 (つづき)

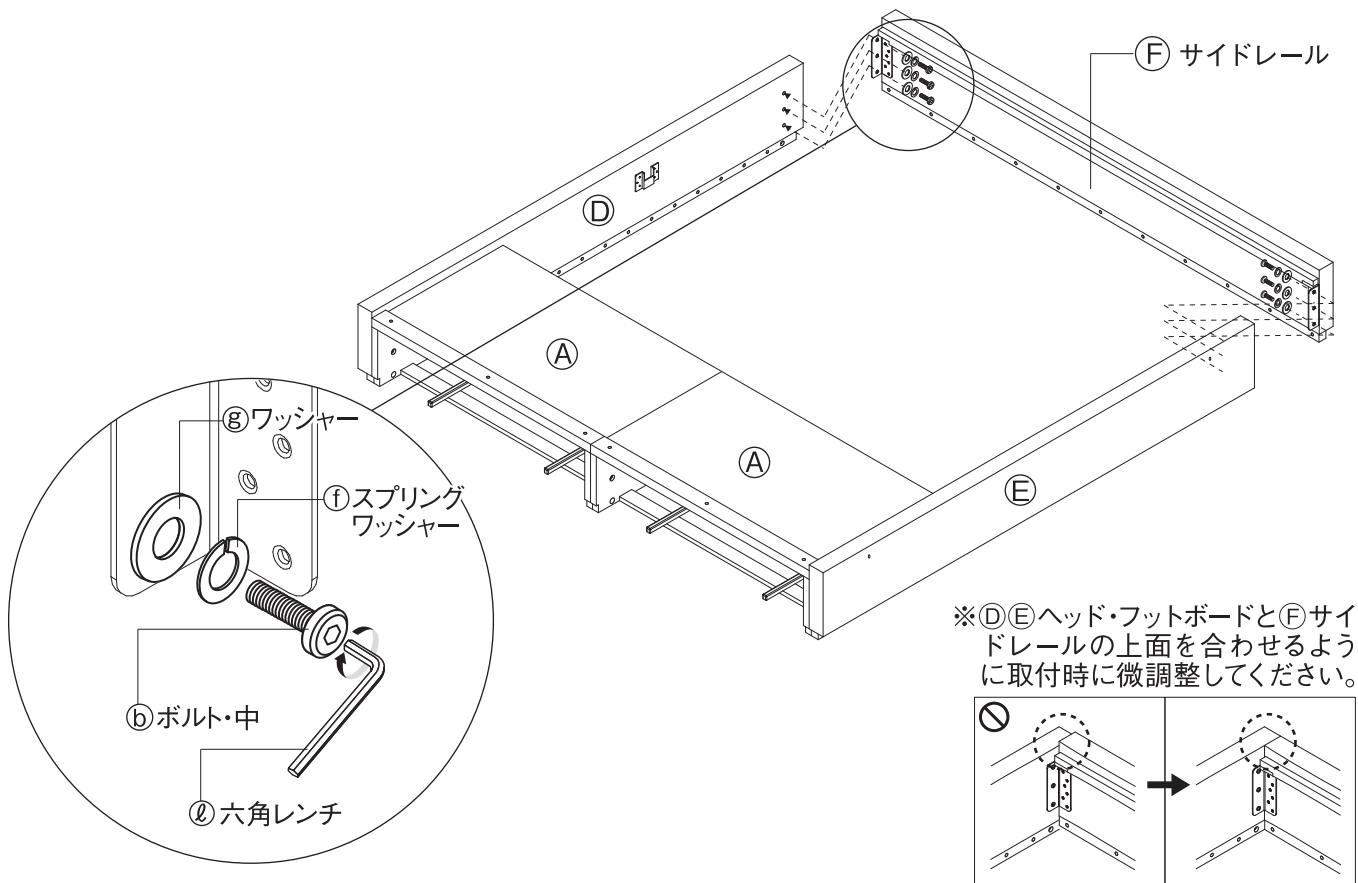
※イラストは **キング** サイズを使用しています。

6

④⑤ヘッド・フットボードに⑥ボルト・中⑦スプリングワッシャー⑧ワッシャーを使用し⑨サイドレールを⑩六角レンチで軽く締め、取り付けてください。(合計6カ所)(組立方法**7**できつく締めます。)

お願い
(その他 注意)

一箇所ずつきつく締めると穴位置がズレ、残りが締めにくくなる場合があります。全体をゆるめに締めてください。



7

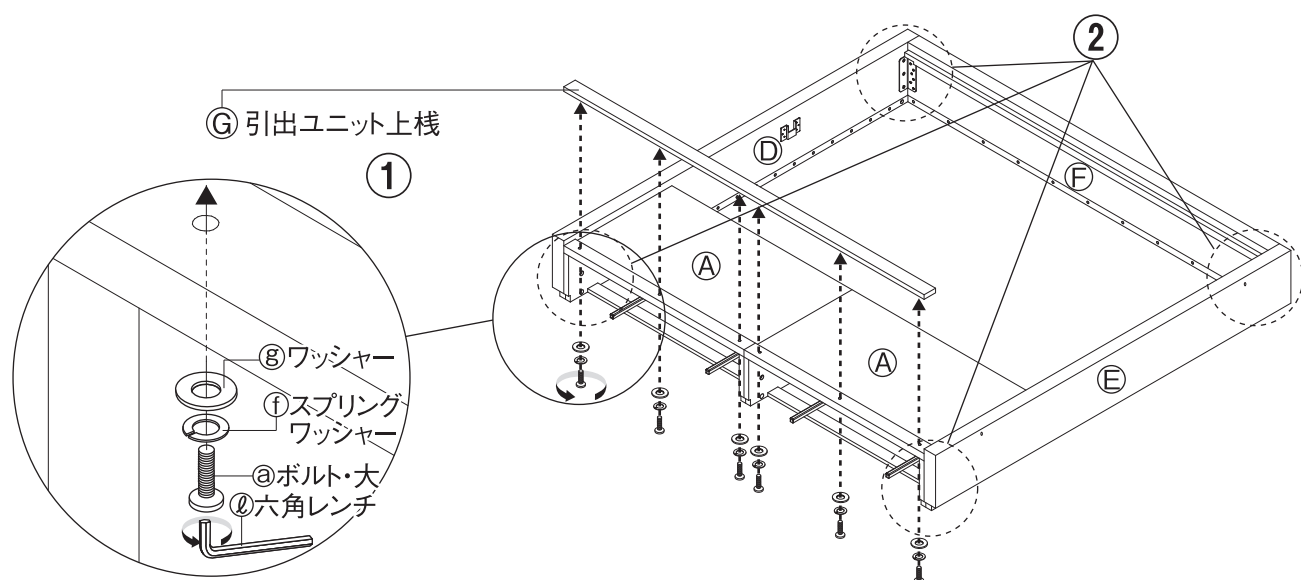
① ①A引出ユニットの上に②ボルト・大③スプリングワッシャー④ワッシャーを使用し⑤引出ユニット上線を⑥六角レンチで締めてください。

※一箇所ずつきつく締めると穴位置がズレやすくなります。全体をゆるめに締めてからきつく締めてください。

② 組立方法**5 6**で軽く締めておいたボルトを、全体のゆがみやズレが無いように注意しながら少しずつきつく締めてしっかり固定してください。

お願い
(その他 注意)

一箇所ずつきつく締めると穴位置がズレ、残りが締めにくくなる場合があります。全体をゆるめに締めてから最後にきつく締めてください。



組立方法 (つづき)

※イラストは **キング** サイズを使用しています。

8

- ① ① ①(K)センターバー脚の裏面に①フェルトを取り付けてください。
 - ① ①(J)センターバーの両端に金物部分にイラストを参考にして①フェルトを取り付けてください。
- ※ 組み立て後にきしみが発生する場合や床面とわずかに隙間が生じている場合などは、必要に応じて市販のフェルト等を兼用してください。

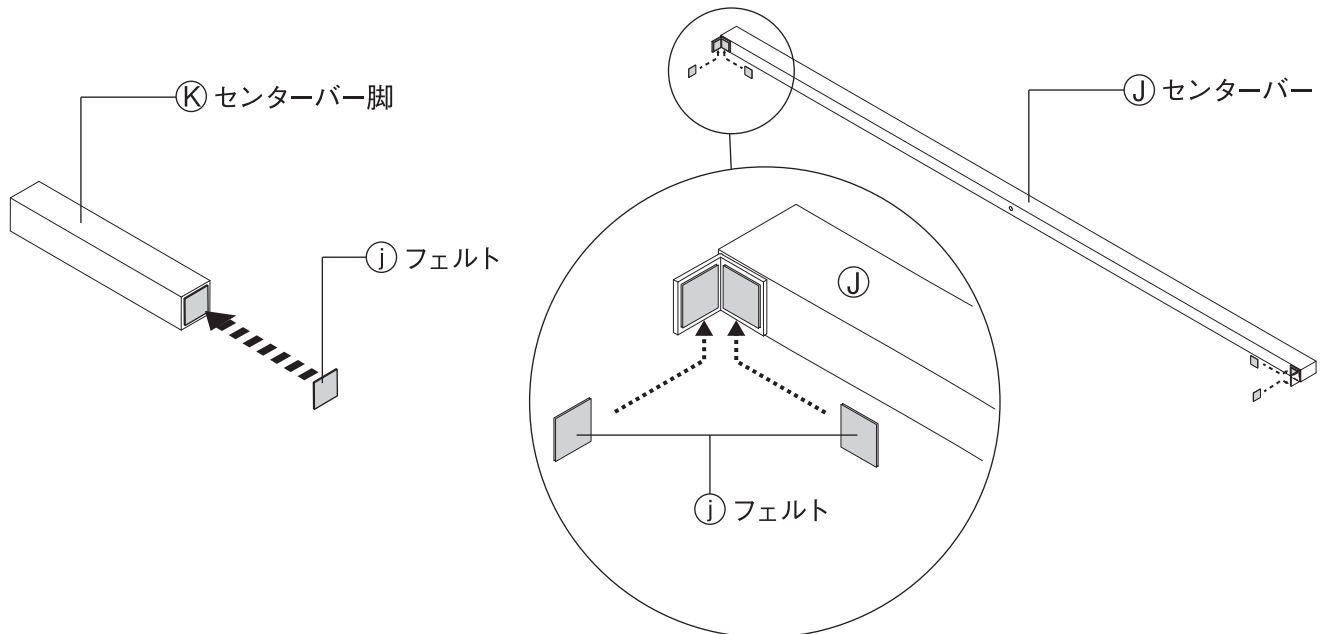


注意

フェルトは床面を保護するために使用してください。貼る前に貼る面のほこりなどの付着物をふき取ってください。付着物があると粘着力が低下します。貼った後は貼った全面をしっかりと押さえて、ムラなく接着してください。

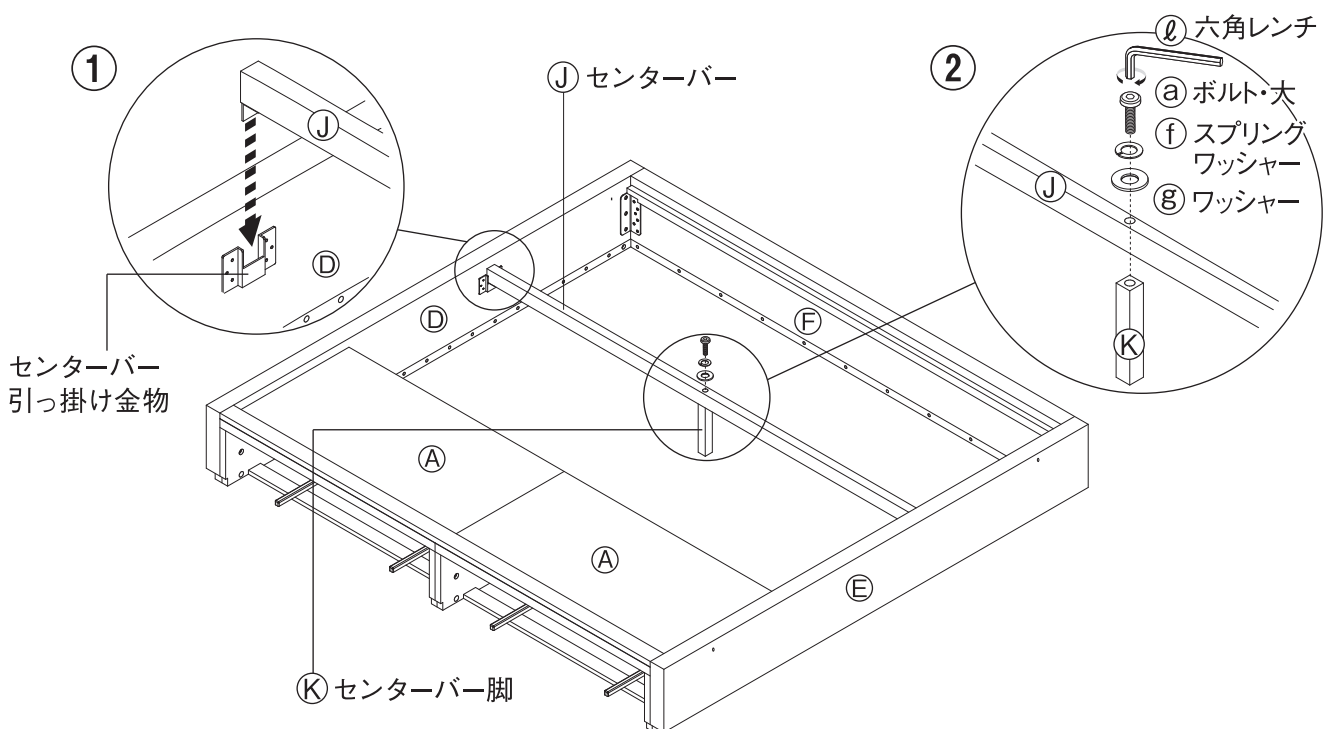
① フェルト (1枚)

② フェルト (4枚)



9

- ① ヘッド・フットボードの側面に付いてあるセンターバー引っ掛け金物に①(J)センターバーの両端に付いてある金物をはめて固定してください。
- ② ①(J)センターバーに①(K)センターバー脚を取付けます。①(J)センターバーの中央部に①(K)センターバー脚を①aボルト・大①fスプリングワッシャー①gワッシャーを使用して①h六角レンチで締め付けてください。



組立方法（つづき）

※イラストは キング サイズを使用しています。

10

- ① ④引出ユニットの上に①床板引出ユニット用をのせてください。
- ② オープンスペースの上に④床板・オープンスペース用をのせてください。
取手のあるものが④床板・オープンスペース用です。

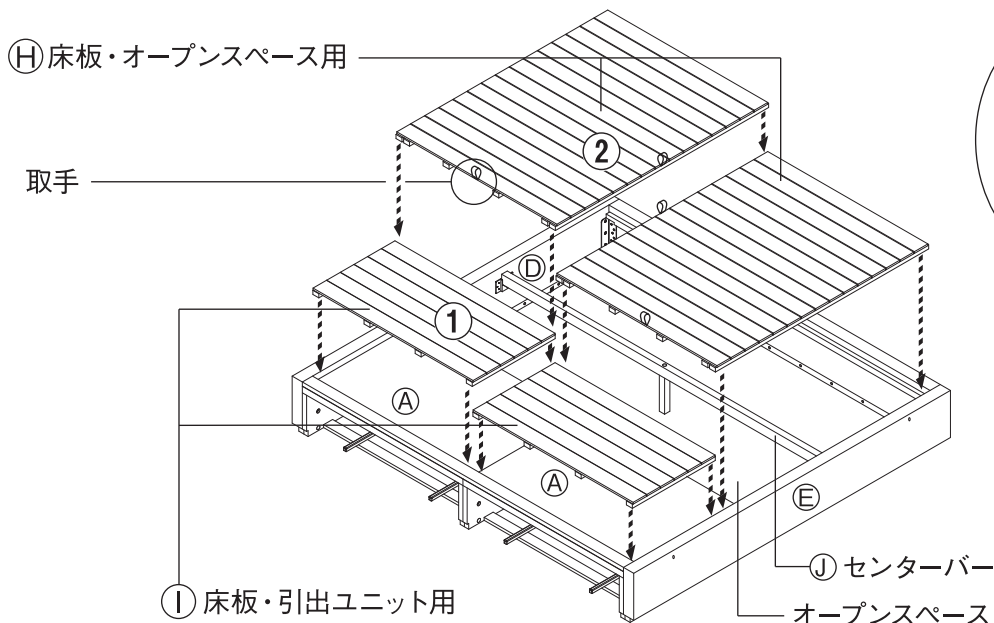


注意



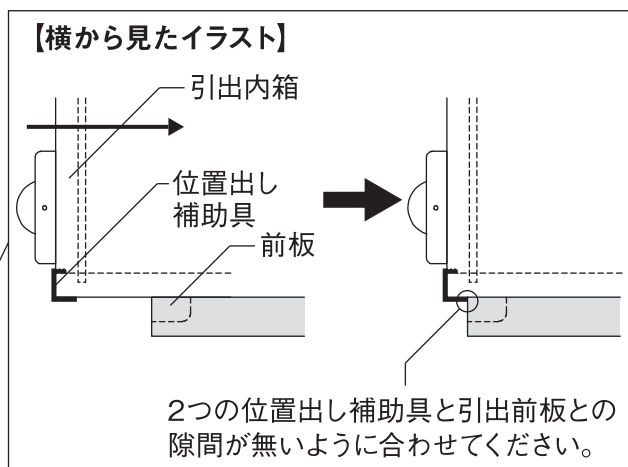
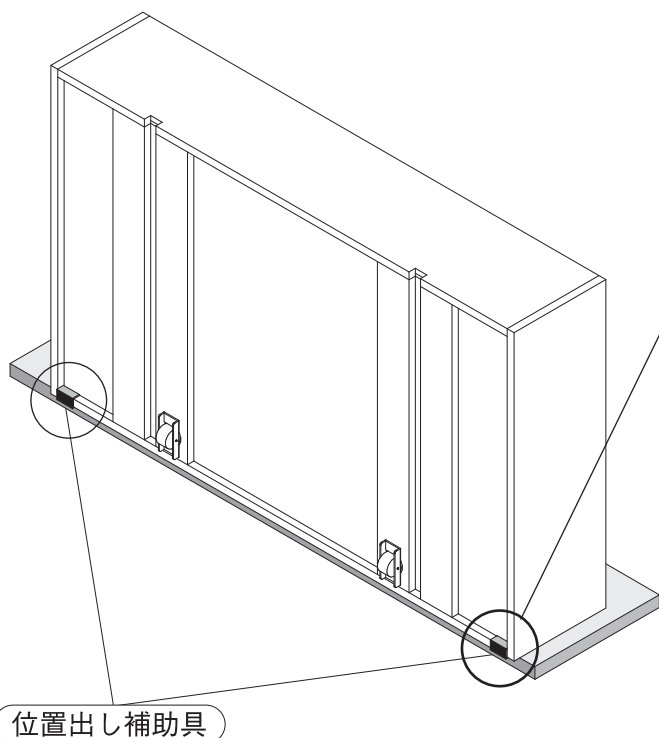
行う

- ④床板・オープンスペース用は向きがあります。イラストを参照し正しい向きで設置してください。
逆に設置すると、床板の落下や強度低下の原因となり、ケガをすることがあります。
- 取手のある方を内側に向けてください。（イラストA参照）
※設置の際は、サイドレールの床板受け枠、⑤センターバーと④引出ユニットの上にしっかりとのせてください。



11

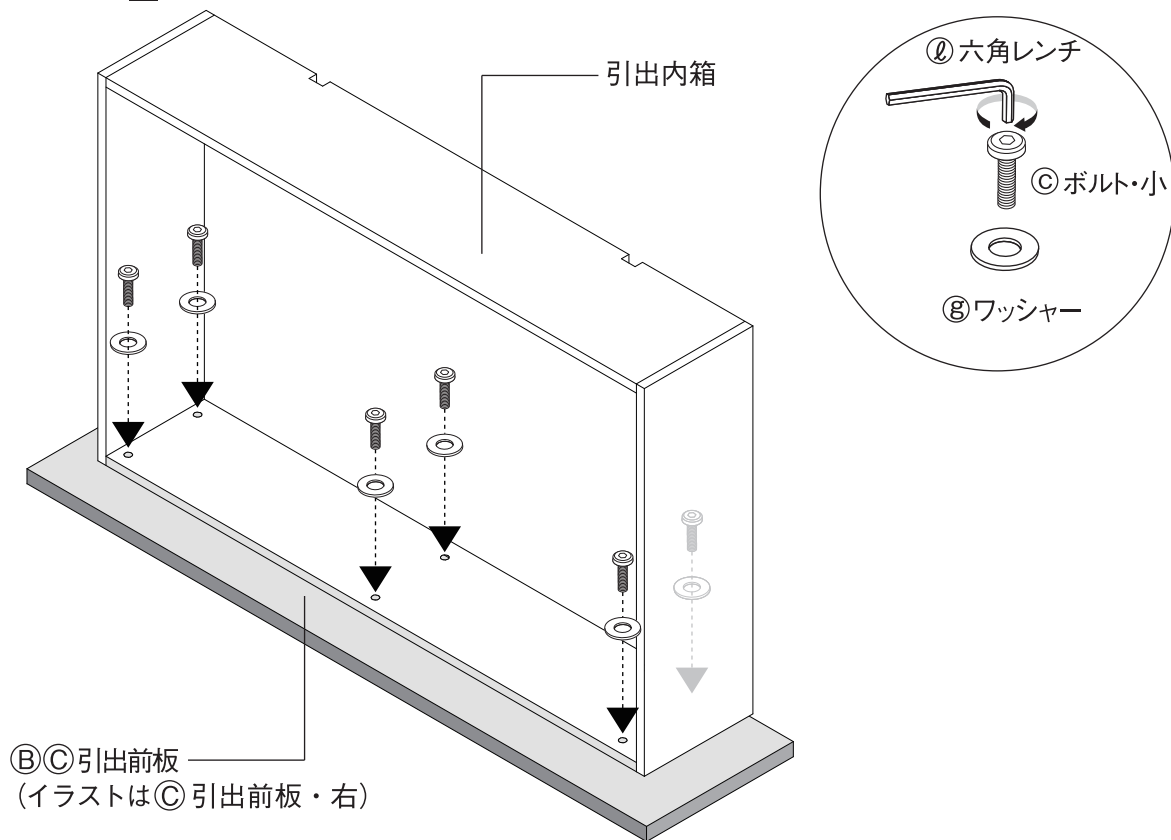
- 組立方法 **2** で外しておいたそれぞれの引出内箱に⑥引出前板・左と⑦引出前板・右を取り付けします。
※引出しは左右で2つあります。
各引出内箱の底面手前側にある2つの「位置出し補助具（プラスチック製）」が引出前板に対して下記イラストのように隙間なく合わせます。



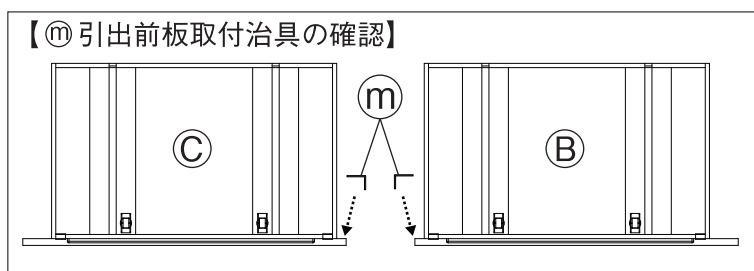
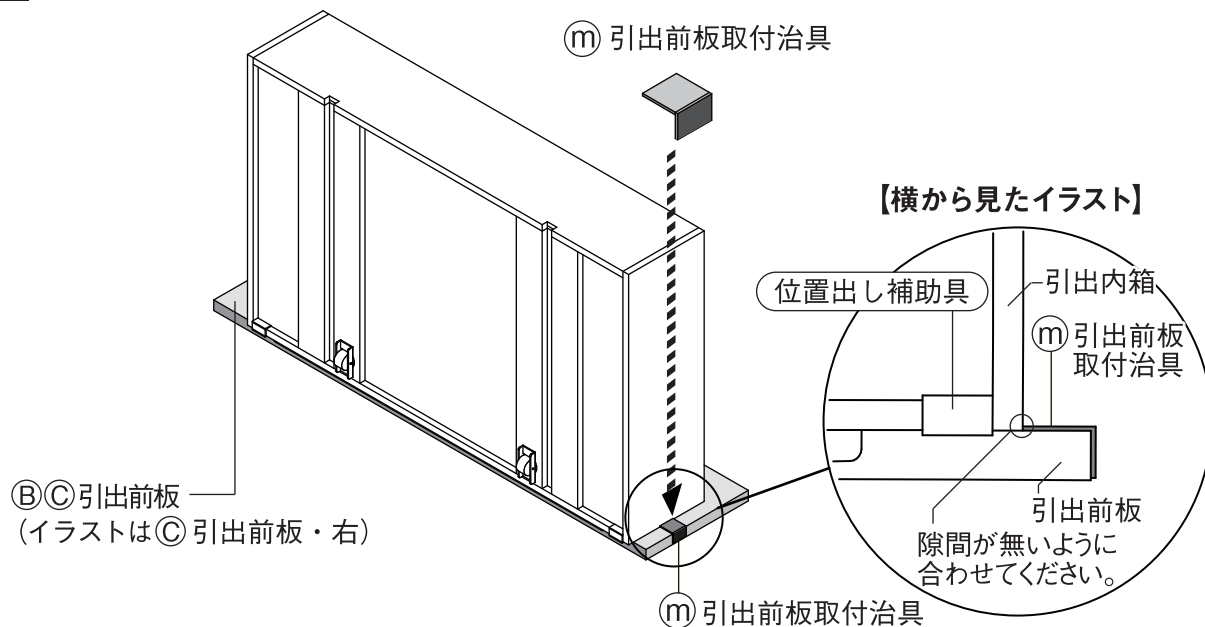
組立方法（つづき）

※イラストは **キング** サイズを使用しています。

- 12** 組立方法**11**で位置を合わせた後③④引出前板を⑤ボルト・小⑥ワッシャーを使用して⑦六角レンチで軽く締めておきます。（各6カ所、合計12カ所）
 ※組立方法**13**で引出前板の位置を調整しますので、きつく締めないでください。



- 13** ③引出前板・左と④引出前板・右の内側（短い側）に⑨引出前板取付治具をイラストのように隙間がなくなるように引出前板と引出内箱の位置を合わせます。

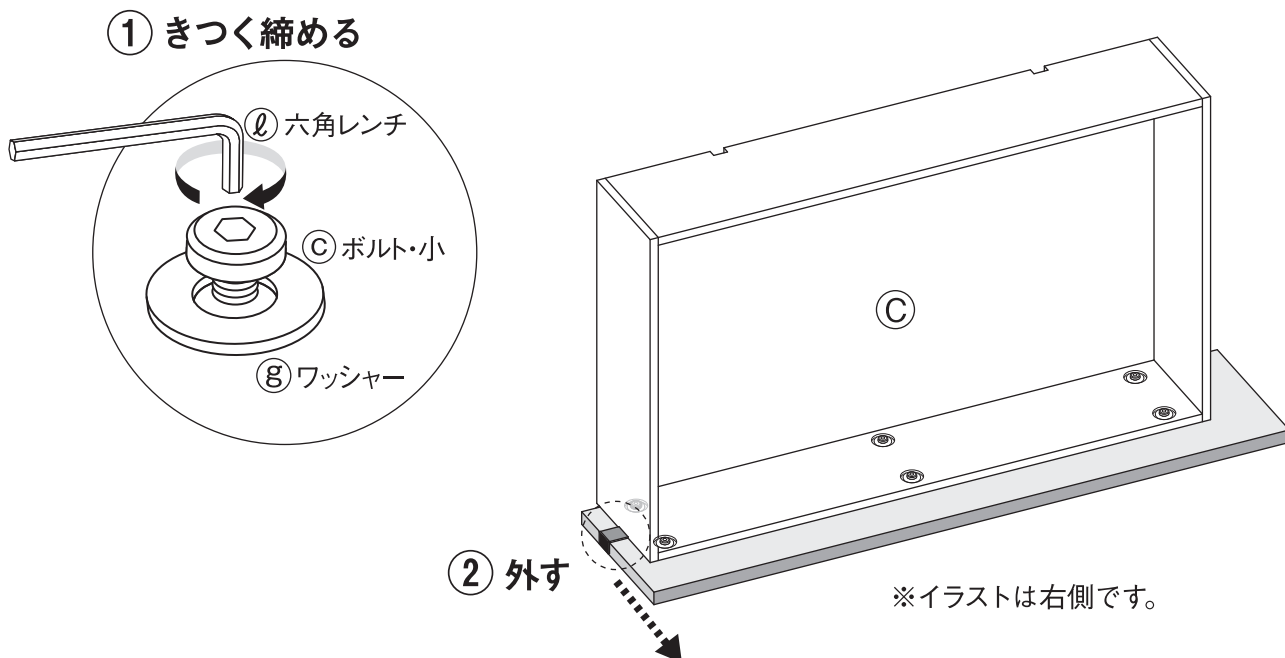


組立方法（つづき）

※イラストは **キング** サイズを使用しています。

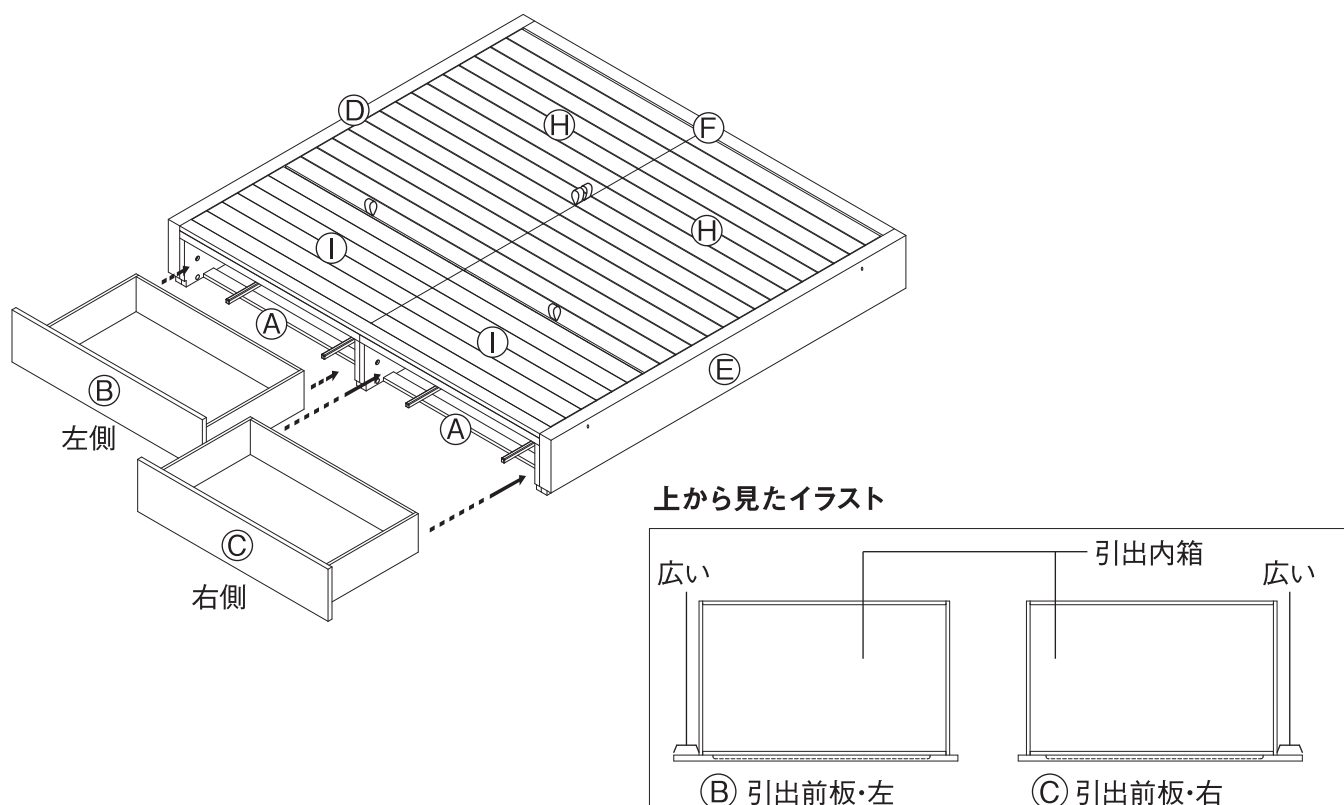
14

- ① 組立方法 **11****12****13** で合わせた（位置出し補助具・**㊦**引出前板取付治具の）位置がずれないようにおさえながら**㉔**ボルト・小**㉕**ワッシャーを使用して**㉖**六角レンチできつく固定してください。
- ② 最後に**㊦**引出前板取付治具を外します。
※位置出し補助具は固定式のため、外さないでください。



15

- 組立方法 **11**～**14** で組み立てた引出内箱を**㊦** 引出ユニットに戻します。
※引出しには左右があります。**㊦****㊧**引出前板の位置に注意して引出を**㊦**引出ユニットに戻してください。



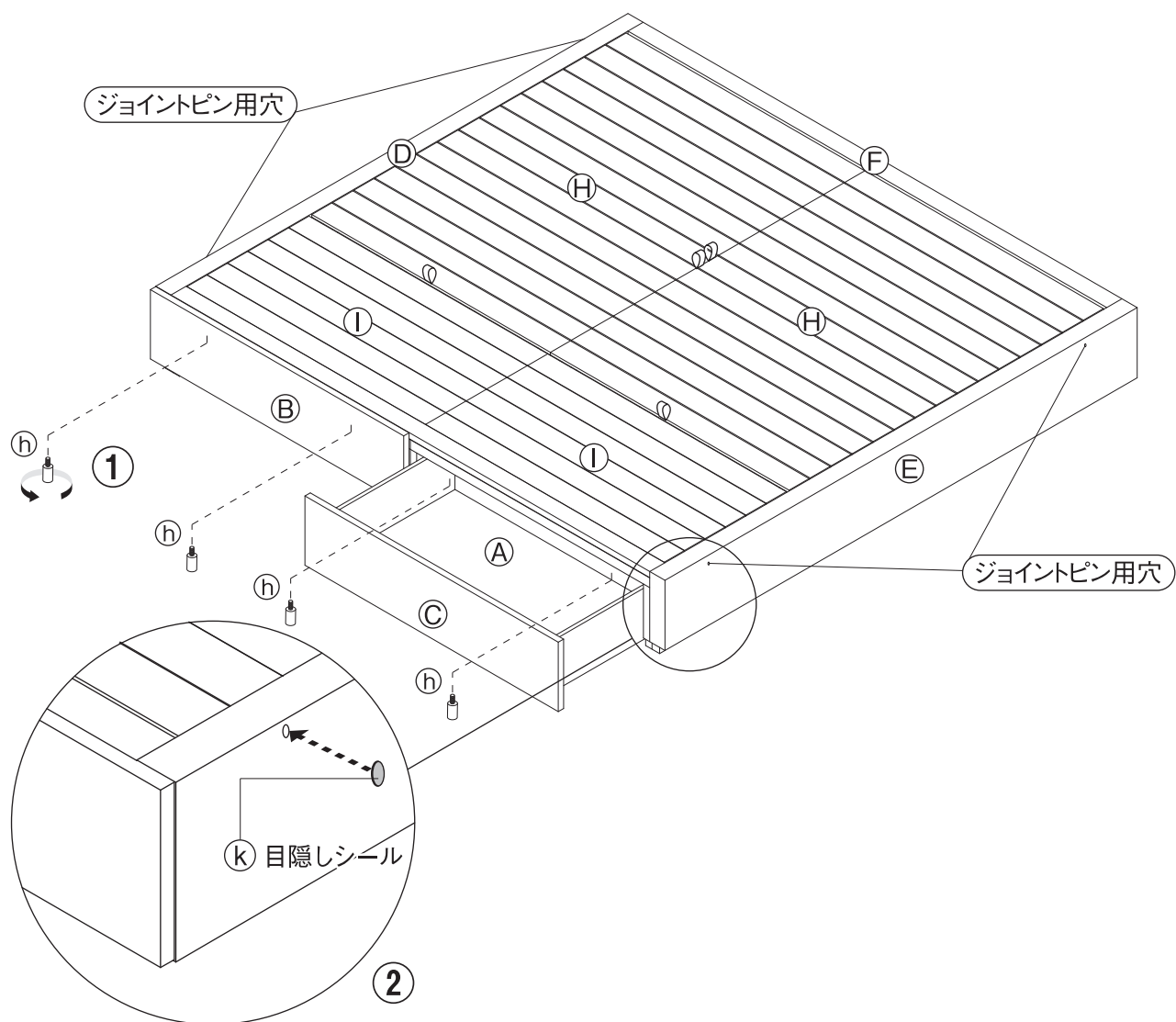
組立方法 (つづき)

※イラストは **キング** サイズを使用しています。

16

- ① イラストのように引出内箱を少し引き出した状態で組立方法 **2** で外しておいた **h** 引出ストッパーを取り付けます。
- ② **k** 目隠しシールを **D**・**E** ヘッド・フットボード・左右のジョイントピン用穴に被せるように貼り付けて完成です。

※ 別売の追加台・ヘッドボードを使用する場合はこの穴を使用しますので **k** 目隠しシールは貼らないでください。



完成

ご使用方法

マットレスの置き方

- ベッド用のマットレスは床板の上に置きお使いください。

布団の置き方

- 布団は「収納ベッド・追加台」(別売)を取り付けて床板と追加台の上に置き、お使いください。

移動について

- 組み立てたベッドを移動する際は、床面を引きずらず、必ずヘッドボード及びフットボードの下に両手を掛け、大人2人以上で同時に持ち上げて運んでください。
- 引越など部屋や階をまたぐような移動の際は、組立前の状態に戻してから運んでください。



注意

ベッドを移動する際は、引きずらず2人以上で移動してください。ケガや破損、床面へのキズの原因になります。

廃棄について

- 各自治体のルールに従い、廃棄してください。

お手入れ方法

木部のお手入れ

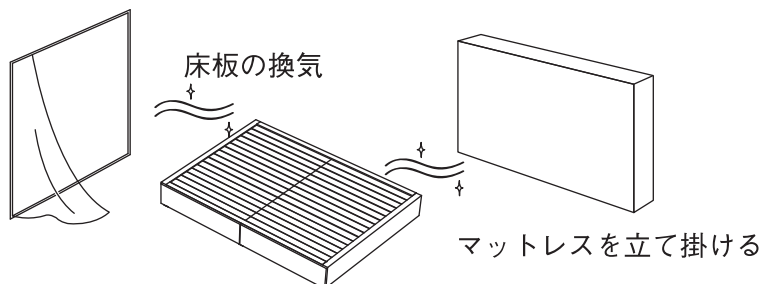
- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。硬い布やほこりなどが付着した状態でこすると、細かなキズがつく原因となります。通常、やわらかい布での乾ぶきで十分です。
- 汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 化学雑巾を長時間接触させておくと、変色したり表面がはがれたりすることがありますのでご注意ください。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 金属部には防錆・潤滑油を薄く塗り、やわらかい布で軽くふき取ってください。

マットレスのお手入れ方法

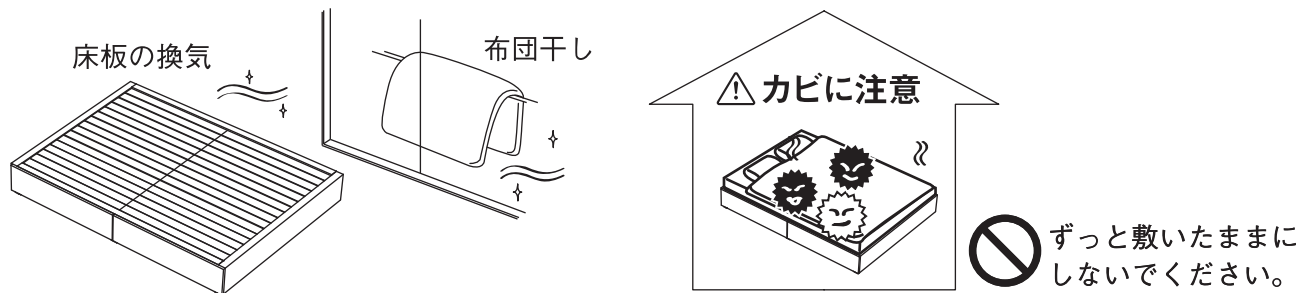
- マットレス指定のお手入れ方法がある場合は、その方法に従ってください。
- 指定のお手入れ方法がない場合でもマットレスを長持ちさせるために、3～4ヶ月に1回上下または裏表を入れ替えていただくことにより長持ちします。(マットレスによっては裏側ではご使用出来ないものもありますのでご確認ください。) また1年に1日、日光にあてていただくことにより、衛生的にお使いいただけます。
- 通常のベッドに比べ湿気がこもりやすいため、湿気によるカビやダニの発生は起こりやすくなります。定期的にマットレスを立て掛けるなどして換気をおこなうようにしてください。
※特に汗をかきやすい夏場と湿気の高くなる梅雨時期はご注意ください。また、冬場は掛け布団が厚くなることで湿気がこもりやすい場合がありますのでご注意ください。



布団のお手入れ方法

- 布団指定のお手入れ方法がある場合は、その方法に従ってください。
- 布団はマットレスに比べ汗などの湿気が床板に伝わりやすく、敷いたままにしておくとカビの発生の原因となります。起床後は掛け布団を外し、片面ずつ日替わりで畳んで置くなど、こまめな換気を行うようご注意ください。また、週に1度程度、定期的に布団カバーの洗濯と布団干しを行ってください。

お手入れ方法（つづき）



収納部の湿気対策

- 収納部も湿気はこもりやすくなりますので、市販の「家庭用除湿剤（湿気とり用）」などを使用し、定期的な換気が必要です。また、汚れたものはカビ発生の原因となりますので、汚れを落としてから収納してください。

保守・点検

- ボルトなどの金具類は、ゆるみやぐらつきがないか時々点検し、ゆるみははじめたらしっかり締めなおしてください。ケガや破損、床面のキズの防止になります。
- キャスターの汚れは定期的に掃除してください。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

ご使用に際して

天然木について

- 本商品は天然木（突板含む）を使用しているため、木目や色合い等、商品ごとに天然木材特有の個体差があります。そのため、商品として木目や色調に差がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木（突板含む）は下記条件により、割れや反りなどが発生することがありますので、ご注意ください。
 - ①直射日光の当たる場所でのご使用は、できる限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどでできる限りお避け下さい。
 - ②冷暖房器具の近くでのご使用はできる限りお避けください。必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてご使用ください。
 - ③特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因になります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
ホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長期間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気をしてください。



注意

家具を設置の際は、室内の換気を十分に行ってください。化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。複数の家具を同時に設置した場合は、特に窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉めきっている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率を上げるため、複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターなどの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質は、許容量に個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても、反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒドの放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。特に乳幼児の衣類などを収納する場合は、ポリ袋やビニール袋等に入れたままの状態でご収納してください。

アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談される事をおすすめします。

ご使用に際して（つづき）

- 無印良品の家具は梱包内にホルムアルデヒド吸着・分解シート※を入れております。
※ホルムアルデヒド吸着・分解シート：アイシン精機(株)との共同開発
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お客様のお手元に届くまでに少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを入れていきます。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は、効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。
- 「収納家具用ホルムアルデヒド吸着・分解シート」のご案内
収納家具用ホルムアルデヒド吸着・分解シートを別途販売しております。
引出しなど密閉された空間の場合など、ホルムアルデヒドは少しずつ放散され続けますので、継続してのご使用がおすすめです。

製品仕様

品名	収納ベッド・クィーン・オーク材 ／収納ベッド・クィーン・ウォールナット材		収納ベッド・キング・オーク材 ／収納ベッド・キング・ウォールナット材
製品寸法	幅1685×奥行2010×高さ270mm		幅1885×奥行2010×高さ270mm
製品質量	約86kg		約89kg
用途	ベッド（2人用）		
引出寸法	幅856×奥行516×高さ159mm		
引出耐荷重	約10kg		
材質	オーク材	サイドレール、ヘッドボード、フットボード、引出前板	天然木化粧繊維板（オーク材突板フラッシュ構造）、プリント紙化粧繊維板
		引出ユニット	天板：積層材、側板：パーティクルボード
		引出内箱	底板：プリント紙化粧繊維板、側板：桐材
		床板、センターバー	積層材
		センターバー脚	天然木（ゴム材）
		塗装	ウレタン樹脂塗装
	ウォールナット材	サイドレール、ヘッドボード、フットボード、引出前板	天然木化粧繊維板（ウォールナット材突板フラッシュ構造）、プリント紙化粧繊維板
		引出ユニット	天板：積層材、側板：パーティクルボード
		引出内箱	底板：プリント紙化粧繊維板、側板：桐材
		床板、センターバー	積層材
		センターバー脚	天然木（ゴム材）
		塗装	ウレタン樹脂塗装
原産国	ベトナム		

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

〒170-8424
東京都豊島区東池袋 4-26-3

お客様室でんわ



0120-14-6404

受付時間 ■平日 10:00～21:00
■土・日・祝 10:00～18:00